

安全にお使いいただくための注意

⚠ 警告 安全のため、次のことをお守りください。

- * 使用目的以外の使用は絶対にしないでください。
- * 本製品はDC12V専用ですので、DC12Vバッテリー以外の電源への接続はしないでください。
- * やむを得ずバッテリー単体でのご使用の場合は、バッテリーの容量に注意してください。
- * 本製品を振り回したり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- * 本製品に重いものを載せたり、落下しやすいところに保管しないでください。
- * 電源コード、接続する家電製品・器具のコードは引っ張らずプラグを持って取り外してください。
- * 破損、キズの入った電源コード等は使用しないでください。
- * 本製品とバッテリーとの取付の際には、濡れた手などでの取付はおやめください。
- * 風通しの良い、運転の妨げにならない場所に固定してください。
- * 梱包用のビニール等は必ず取り外してご使用ください。
- * ガソリン、木くず、カーテン等燃えやすいものの周辺では使用しないでください。
- * 本体出力コンセントに家電製品等のACコンセントを差し込む時、又は抜くときは必ず本体及び家電製品等の電源スイッチをOFFにしてください。
- * 本製品の出力電圧を一般的なテスターで測定した場合、周波数の関係上100Vの表示をしないことがあります。実際には100V出力されていますので故障ではありません。正しい出力V数を計る場合はRMSテスター等で計る必要があります。
- * 直射日光下や発熱体の周辺などの高温の場所や湿気、ほこり、振動の激しい場所及び化学性ガス害受けやすい場所には保管しないでください。
- * 極性を反転させた接続、プラス(+)からマイナス(-)への接続を行うとヒューズを破損させ修理不能な損傷をインバーターに与えることがあります。
- * 本製品の分解や改造をしないでください。
- * 本製品または接続している機器に異常や不具合が生じた場合には、直ちに使用中止して下さい。
- * 点検・調整・修理は、メーカーまたは、販売店にご依頼ください。お客様ご自身で調整・修理により起こったトラブルは保証対象外となります。

⚠ 注意 業務用、医療機器には使用できません。

- * 本製品の使用温度範囲は0℃～40℃です。本製品を直射日光下、ストーブの前や火の近くなど、40℃を超える場所で使用しないでください。
- * 本製品を水で濡らしたり、湿度が極端に高い場所で使用しないでください。
- * 塩害、粉塵害、化学性ガス害等を受けやすい場所で使用しないでください。
- * 本製品は乳幼児の手の届かないところで使用し、小児が使用する場合は、保護者指導の元でお使いください。

バッテリーケーブル使用目安

●インバーターとバッテリーを繋ぐケーブルは消費電力に応じてケーブルを太くする必要があります。安定した動作と安全の確保のためには出来るだけ太く、短く、信頼性の高いケーブルを使用することが必要です。本製品にはあらかじめ最適な容量を計算されたケーブルが付属されていますが、設置場所の問題などで長さを変更する際は以下の表を参考にバッテリーケーブルの太さを選択してください。

12V用	0～400W	400～500W	600～800W	800～1000W	1000～1500W	1500～2500W	
～1m	14AWG	12AWG	10AWG	8AWG	4AWG	4AWG×2本	2AWG×1本
～2m	12AWG	10AWG	8AWG	4AWG	2AWG	2AWG×2本	0AWG×1本
～3m	10AWG	8AWG	4AWG	4AWG	1/0AWG	1/0AWG×2本	-

ケーブル太さの単位はAWG (アメリカン・ワイヤー・ゲージ) です。数値が低いほど太くなります。他の単位でよく使用されるsq(スクエア、スクエア)で表すと、8AWG≒8sq、4AWG≒22sq、2AWG≒38sq、1/0AWG≒60sqになります。

使用方法と使用上の注意

- ①インバーターの電源がOFFになっている事をご確認ください。
- ②ご使用になる家電製品、機器に表示してある周波数(50Hz/60Hz)を確認し、お住まいの周波数、又はご使用いただく機器の周波数に合わせて設定してください。
※電源ONの状態では周波数は切り替わりません。周波数の設定変更は、必ずインバーターの電源がOFFの状態で行ってください。
- ③バッテリーケーブルをインバーターの背面にある入力端子に接続してください。
バッテリーのマイナス(-)端子のバッテリーケーブルとインバーターのマイナス(黒)端子が合っているか確認してください。同様に、バッテリーのプラス(+)端子のバッテリーケーブルとインバーターのプラス(赤)端子が合っているか確認してください。その後、バッテリーケーブルが外れたりしないか、確認を行ってください。
※接続部のネジやボルトの締めつけが弱い場合、電気が流れにくくなり接続端子に大きな熱が加わり、端子周りが熱により変形する場合がありますので、接続部は確実に締め、ケーブル端子と入力端子の接触面がしっかり確保されていることを確認してください。
- ④インバーターのスイッチをONにします。
- ⑤ご使用頂く機器の電源がOFFになっていることを確認し、機器を接続します。
 - ACコンセントを使用する場合
・接続する機器の電源がOFFになっている事を確認してから、電源プラグをAC出力コンセントに差し込み、機器の電源を入れてください。
 - USBポートに接続する場合
・接続する機器の電源がOFFになっている事を確認してから、USBポートに機器のUSBコネクタを差し込み、機器の電源を入れてください。
- ⑥使用後は本製品に接続した機器の電源をOFFにしてから、本製品から取外してください。

⚠ 注意 ご使用前の重要情報

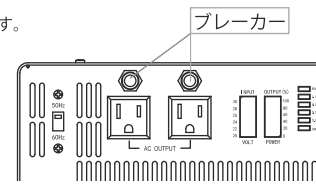
- ※ プラス(+)極とマイナス(-)極を反転して接続してしまうと、インバーターに修理不能となる損傷を与える原因となります。極性の反転が原因の故障については保証の対象外となります。
- ※ 可燃性の蒸気やガスが火災の原因となりますので、適切な距離に設置してください。
- ※ プラス又はマイナス極端子同士の接続時にスパークすることがありますが、インバーター内部に電流を蓄電することによって起こるものであり、通常の現象です。
- ※ インバーターのアース端子が正しく設置されていないと感電するおそれがあります。

定格出力	・・・安定して供給する事ができる出力値	（表示されている定格消費電力の約5倍以上が最大消費電力の目安となります。例：定格50Wの場合、約5倍の250W以上が最大出力の目安となります。冷蔵庫・電気工具・コンプレッサーなどのモーターを使用するものは、表示されている定格消費電力の約10倍以上が最大消費電力の目安となります。）
最大出力	・・・短時間に限り供給できる出力値	
瞬間最大出力	・・・ごく短時間に限り供給できる出力値	

ブレーカーについて

ブレーカーのボタンは約1cm程押し込む余地があり、通常時は手応え無く簡単に押せる状態ですが、ブレーカーが作動するとこのボタンは力を強く入れないと押し込めなくなります。本器の出力以上の消費電力機器が使用された場合、ブレーカーが作動し電力の供給をストップします。ブレーカーが作動した場合は、手でブレーカーを解除する必要があります。AC100V出力がされていなかった場合、下記の方法にてブレーカーが作動していないか確認してください。

- 作動したブレーカーの解除の仕方
 - ・インバーターから接続した家電機器のコンセントを抜きます。
 - ・インバーターの電源スイッチをOFFにします。
 - ・ブレーカーのボタンを強く押し込むと解除できます。(ボタンを押した手応えが軽くなり、ボタンを押し込む余地ができればブレーカーを解除できています。)



■ 故障かなと思ったら

電源ランプが点灯しない。	バッテリーケーブルが確実に接続されていることをお確かめください。 バッテリーケーブル設置点に付着したゴミやホコリ等が無いかお確かめください。
接続した機器の電源がつかない。	接続したバッテリーがバッテリー上がりを起こしていないかお確かめください。 保護機能が働いている場合があります。各種エラー表示LEDをご確認ください。 機器の定格・最大消費電力が、本製品の出力容量以内であることをお確かめください。 ブレーカーが作動している場合があります。ブレーカーのボタンを操作し、ブレーカーを解除してください。
使用中に接続している機器の電源が突然切れてしまった。	保護機能が働いている場合があります。各種エラー表示LEDをご確認ください。 ブレーカーが作動している場合があります。ブレーカーのボタンを操作し、ブレーカーを解除してください。
ブレーカーを解除してもすぐにまたブレーカーが作動してしまう。	機器の定格・最大消費電力が、1500Wの出力容量以内であることをお確かめください。